



第1回校内研究会

平成23年6月16日(木)

■研究テーマ「**“学び合い”から理解を深める教室づくり**」

<本日のねらい>

- ①「生徒に考えさせる, 気付かせる」ために, 教師の役割(聴く, つなぐ, もどす)のあり方を探る。
- ②授業の工夫改善に努める。
 - ・教師の言葉を減らす。
 - ・教室を活性化させる課題の設定。
 - ・実物を持ち込む。
 - ・適切な作業を取り入れる。
 - ・視聴覚機器(テレビ)の活用。 など

●平成22年度の課題●

- ・教師がしゃべりすぎている。もっと言葉を減らすことが必要。
- ・講義形式の授業に終始せず, 生徒同士の話し合いを増やすこと。
- ・グループ学習の生かし方, 課題の与え方, 学習の考え方など。



<授業を見るポイント>特定のグループに着目して観察してください。

- ①生徒はどこで学んでいたか, いなかったか
- ②教師はどのような働きかけ・工夫をしたか

■日 程

午前中の公開授業(3年所属教師全員)

可能な限り, 教員間で参観する。

校時	学級	教科	授業者	単元名	場所
1	3-1	技術	坂野篤史	エネルギー変換	金工室
1	3-3	理科	森本美穂	運動と力	第1理科室
4	1-5	美術	広瀬一行	文字のデザイン(レタリング練習)	第1美術室
4	2-3 4	体育	鈴木久嗣	陸上運動(持久走・ハードル走)	グラウンド
4	3-1	社会	吉森貴規	日本国憲法の基本原理	3-1
4	3-3	英語	田村美津子	Multi Plus 2 わたしの修学旅行	英語A室
4	3-4	数学	青木勉	平方根	数学B室
4	3-4	数学	大浦弘子	平方根	数学A室
4	7	英語	河原林美代子	アルファベットと英単語	7組教室
3	3-1	国語	平松靖之	文法1 助詞と助動詞	3-1

13:10~ 帰りの会(全学年), 下校, 部活動なし

13:30~ **5校時3-4 理科 科 授業者: 鷲 邦彦 「運動と力」**

14:20 5校時終了, 下校

14:35~ **全体研修会(於: 視聴覚室)**

・学校長挨拶 5分 14:35~14:40

・**実践交流** 20分 14:40~15:00

・**公開授業研究協議** 50分 15:00~15:50

・指導講話 30分 15:50~16:40

小牧市少年センター所長・倉知雪春先生

・謝辞・挨拶 3分 16:40~16:43

■役割分担 司会(東)
会場設定(みんなで)

記録(小幡)
連絡調整接待(上野)

「実践交流」の持ち方について

1. 実践交流のねらい

- (1) 「学び合い」を生かす授業実践について、各教科で取り組んでいる内容を発表・交流し、教科の枠を越えてその成果と課題を共有する。
- (2) 発表者の立場では、自分の実践をあらためて見つめ直す機会とする。また聴き手の立場でも、積極的な姿勢で発表を聴いて、自分の実践を比較し見つめ直す機会とする。
- (3) お互いの実践から学び合うことを通して、教師間の同僚性を高める。

2. 実践交流の内容、方法 今回の担当・・・2年

内 容：「学び合いを生かすヒット授業案」にもとづいて実施した授業について、生徒の反応や得られたこと、課題として残ることなどを発表する。

時間設定：25分（発表10分＋質疑10分＋感想記入5分）

発表者：発表者を4～6人設定する。発表者は各ブースで発表をする。

聴き手：発表者以外は聴き手となる。質問や意見などを交わす。

：1つの発表に対して、質問や感想等を必ず1人1発言を！

：4～6人の発表に対して聴き手の人数がほぼ均等になるよう、その場で調整する。

：学び合い等についての議題もこの中で深める (みんな大人なので協力してくださいね)

3. 時間設定（全体研修会 14：35～16：55の中で）

・実践交流 20分 14:40～15:00(説明10分 質疑10分 その後感想記入)

4. 発表者（以下の先生方をお願いします）

■ ■ ■ ■ ■ ■

5. 発表者が準備する資料

・まとめレポート（A4用紙1枚、最大でも2枚まで）

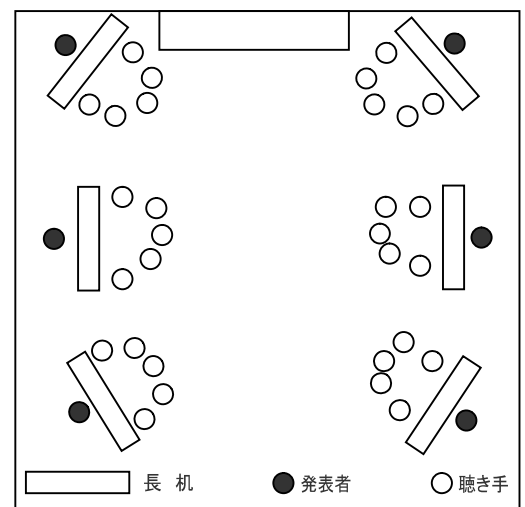
【指導略案】＋【授業の様子、成果と課題、授業を終えての所感、生徒の感想など】を必要に応じて

6. 今後の展望

全員がレポートを提出して下さい。学年で綴ります。



7. 会場イメージ図



大津市立栗津中学校

担当 上野 行き

FAX 077-537-0760

6月16日 校内研究会への参加申込票

学校名	TEL FAX
E-mail	

	参加者氏名	職名	来校予定時刻
1			
2			
3			

※連絡事項
